



驚見 悟

幌延町における医療・福祉・介護と酪農について聞く

介護保険料について

質問 第6期介護保険料について、どのように設定したのか。

町長 いろいろな計算に基づき、全国平均並みの保険料となった。

町民課長 基準となる第5段階で月額5千4百16円(年額6万5千円)となり、年額5千8百円の減額となる。

国民健康保険料について

質問 国民健康保険料は運営も厳しいが、支払う町民も大変なのが現状。低所得層の減免を増やしたらどうか。

町長 検討の上、考えたい。

質問 年金は2010年以降下がりに続けている。高齢者が少しでも健康で働き続けるために、シルバー人材センター等の設置などは考えられないか。

町長 今後、考えてみる。

こがくら荘について

質問 介護保険事業の中心的施設である特別養護老人ホームこがくら荘に対し、運営の支援、強化を述べているが、今後の施設運営において、どう展開すること考えているのか。

町長 いろいろな経過があって、(病院から診療所へ)10床を増床したことで小規模型から外れて、報酬等の算定から加算がなくなった。これらのことから運営が厳しくなった。経営の改善を図りながら、今後も支援は行っていく。

近隣町村との医療連携について

質問 医療機関(病院・診療所)の近隣町村や稚内、旭川などとの連携について、また地域性のある町独自の運営方法を考えたかどうか。

町長 現状通りで、特に考えていない。今のままでいいと思う。

と思う。

障害者総合支援法について

質問 障害者総合支援法の介護保険優先の原則から、障害者が65歳になると介護保険が変わってしまうが、本町ではどうか。

町民課長 1名の方がいる。今までは障害者年金という形で二重給付をされていたが、税の公平の観点からそうなったと理解している。

基幹産業である酪農について

質問 離農が進み、酪農家が減少している。新規就農者に対する助成や後継者対策が必要になってきている。どう進める考えか。

町長 平成25年度に新規就



農者への助成について、条例を制定している。これに基づいて行う。

質問 後継者対策はどう行うのか。

町長 婚活支援に努めることとし、農協をはじめとする関係機関と共に推進する。

質問 北見枝幸町や天塩町など、自治体と農協が連携して乳代補助を出しているが、幌延町としてはどうか。

町長 乳代は国と関係機関で決定されることなので、

考えてはいない。

質問 増産することに対する補助という考え方で補助は考えられるのか。

町長 どういう形で皆さんの意欲を上げていけるのかは、考えたい。

議会の動き

- 1月15日 ▶ 第64回議会報発行特別委員会
- 1月26日 ▶ 第1回幌延町議会臨時会
- 1月26日 ▶ 第2回産業厚生常任委員会
- 1月26日 ▶ 第1回総務文教常任委員会
- 2月2日～3日 ▶ 宗谷町村議会議長会定期総会(稚内市)
- 2月27日 ▶ 第1回議会運営委員会
- 2月27日 ▶ 第2回総務文教常任委員会
- 2月27日 ▶ 第3回産業厚生常任委員会
- 2月27日 ▶ 第1回全員協議会
- 3月4日 ▶ 第2回議会運営委員会
- 3月10日～12日 ▶ 第2回幌延町議会定例会
- 3月12日 ▶ 第2回全員協議会
- 4月1日 ▶ 第65回議会報発行特別委員会
- 4月10日 ▶ 第66回議会報発行特別委員会

